

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人
静岡市しみず社会福祉事業団

目 次

I	事務局	1
II	静岡市清水みなとふれあいセンター〔身体障害者福祉センターB型〕	9
III	静岡市清水ひびきワーク〔生活介護事業所〕	12
IV	静岡市清水うみのこセンター〔母子療育訓練センター〕	16
V	静岡市清水うしおワーク〔多機能型事業所〕	
1	生活介護事業	19
2	就労継続支援B型事業	23
VI	静岡市清水うなばら学園〔生活介護事業所〕	27
VII	静岡市清水なぎさホーム〔生活介護事業所〕	31
VIII	障害者相談支援センターわだつみ〔相談支援事業〕	35

I 事務局

障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として常に利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術の提供と障害福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

1 評議員会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
定時	6 月 25 日	会議室	評議員 7 人 監事 2 人	○令和 5 年度事業報告及び各種会計決算 認定 ○令和 6 年度各種会計収支補正予算（案） の承認 ○社会福祉充実計画の承認 ○役員を選任 ○報告事項
2	10 月 8 日	会議室	評議員 6 人 監事 1 人	○令和 6 年度各種会計収支補正予算（案） の承認
3	3 月 24 日	会議室	評議員 6 人 監事 1 人	○令和 6 年度各種会計第 3 次収支補正予 算（案） ○令和 7 年度事業計画（案） ○令和 7 年度各種会計収支予算（案）

2 理事会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
1	6 月 7 日	会議室	理事 6 人 監事 2 人	○令和 5 年度事業報告及び各種会計決算 の承認 ○令和 6 年度各種会計収支補正予算（案） の承認 ○事業運営資金積立金の目的外取崩し額 変更 ○定時評議員会の招集 ○社会福祉充実計画の承認 ○役員（監事）候補者の選定 ○評議員選任・解任委員会委員の選任 ○報告事項
2	9 月 26 日	会議室	理事 5 人 監事 2 人	○職員給与規程の一部改正 ○事業運営資金取崩し ○令和 6 年度各種会計第 2 次収支補正予 算（案）の承認 ○第 2 回評議員会の招集

3	3月14日	会議室	理事6人 監事2人	○令和6年度各種会計収支補正予算（案） ○第3回評議員会招集 ○令和7年度事業計画（案） ○令和7年度各種会計収支予算（案） ○諸規程の改正 ○役員賠償保険契約締結の件 ○施設長の任命の件 ○報告事項
---	-------	-----	--------------	---

3 監査等

(1) 内部監査

区分	実施日	実施者	内 容
会計帳簿監査	5月24日	杉山明喜雄 公認会計士他3人	令和5年度決算に伴う経理監査
決算監査	6月3日	事業団監事2人	令和5年度決算書類及び付属関係書類、 関係諸帳簿との照合、係数検査等
定期監査	12月19日	事業団監事2人	令和6年度前期分各種計算書類等の 確認、業務状況報告

※いずれも、適正、かつ正確に行われているとの報告を受けた。

(2) 外部監査

区分	実施日	実施者	指摘事項
法人指導監査	8月29日	静岡市福祉総務課 監査指導担当課	文書指摘、口頭指摘なし
出資団体監査	10月17日 (本監査)	監査委員事務局	令和5年度決算報告書の記載内容の誤りについて
包括外部監査	9月（3日間） (往査) 12月25日 (意見調整会)	静岡市外部監査人	・決算報告資料の重複について ・兼務職員の事業区分別の給与按分について ・給与引当金の会計処理について ・時間外手当に関する会計処理について ・電話加入権の減損処理について ・経営計画の事前承認について ・市からの財政支出に係る第三者委託契約について ・事業報告書の提出期限について ・請求書の日付の取扱いについて

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

令和6年5月29日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員2人に報告した。なお、個々の苦情解決並びに直接、第三者委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況(令和6年度末)

適正な職員配置を行い、業務に万全を期した。(単位：人)

事業別	施設名	常勤	非常勤 (嘱託医等含む)	兼務	合計
本部	事務局	4	1	(3)	5
身体障害者福祉 センターB型	静岡市清水みなと ふれあいセンター	4	0	(1)	4
生活介護事業所	静岡市清水 ひびきワーク	5	1	(1)	6
母子療育訓練 センター	静岡市清水 うみのこセンター	6	5		11
多機能型事業所	静岡市清水 うしおワーク	10	3	(5)	13
生活介護事業所	静岡市清水 うなばら学園	13	5	(2)	18
生活介護事業所	静岡市清水 なぎさホーム	9	4	(1)	13
相談支援事業	障害者相談支援 センターわだつみ	7	0	(2)	7
合 計		58	19	(15)	77

6 事務局職員の配置状況 (単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
事務局長	1		(1)	1	わだつみ兼務
事務局次長	1		(1)	1	みなとふれあい センター兼務
事務員	2			2	
運転士 (地域貢献担当)		1	(1)	1	なぎさホーム兼務
計	4	1	(3)	5	

7 職員研修等

職員の資質の向上、専門的知識、技能の習得を図るため、関係機関が開催する実務研修や各種研修会に積極的に参加した他、事業団職員研修計画に基づいて内部研修、階層別研修等を実施した。

(1) 職員研修実施状況

ア 階層別研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
7月11日	監督者研修	副主任	1人	副主任に求められる基本的役割を理解する

イ 全体研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
7月30日	ビジネスゲームでチームワークを深める	全職員	56人	チームでの仕事の進め方を見直す
7月31日	風通しの良い職場づくり研修	中堅職員	12人	意見を発信しやすい職場とは
10月2日	指定管理者情報セキュリティ研修	全職員	56人	運転技能・知識についての状況確認を行う
11月8日	交通安全研修	全職員	35人	高速道路の通行について
11月10日	防犯研修	全職員	50人	静岡県の特種詐欺の動向 不審者に遭遇した際の対処法
11月18日	虐待防止研修	全職員	60人	虐待防止に向けた取り組みを学ぶ
11月22日	財務管理研修	全職員	35人	法人経営における財務の在り方について学ぶ
12月6日	AED講習会	全職員 (3年で全職員)	22人	AEDの使用方法を学ぶ
1月17日	事例研究発表会	全職員	35人	うなばら学園における実践事例報告

ウ 専門研修（外部研修）

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
5月24日	BCPと法的責任	管理職者	8人	大規模災害対策を法的に紐解く
5月28日	安全運転管理者総会	施設長 (安管)	1人	安全運転管理者総会
6月6日	行政立入り監査対応のポイント	管理職者	7人	監査の流れを把握する
6月18日～	相談支援従事者初任者研修	生活支援員	1人	相談支援従事者として必要な知識・技能を学ぶ
6月19日	BCP机上訓練 自然災害編	管理職者	8人	自然災害への備えについて
7月4日	セーフティ ドライブスコンテスト	生活支援員	2人	
7月12日～	事務職員経理基礎講座	事務局主事	1人	社会福祉法人会計の基礎的知識の習得
7月17日	BCP机上訓練 感染症編	管理職者	8人	感染症への備えについて

7月19日	東海北陸 ブロック会議	事務局次長 事務局主任	2人	東海北陸ブロック幹部職員研修
7月29日	トレーラーハウス 活用事例セミナー	事務局主事	1人	トレーラーハウスを就労支援 事業として展開した事例
8月1日～	相談支援従事者 現任研修	相談支援 専門員他	3人	相談支援従事者として必要な 知識・技能を学ぶ
8月5日	安全運転管理者 研修	施設長 (安管)	1人	安全運転管理者法定講習会
8月16日～	事務職員経理 応用講座	事務局主事	1人	応用的な会計処理について
8月26日～	サービス管理責任 者等基礎研修	相談支援 専門員	1人	サービスや支援の質の確保に 必要な知識・技能を学ぶ
9月13日～	事務職員予算 管理講座	事務局主事	1人	当初予算、補正予算の編成に 係る留意事項
9月26日	電気安全講習会	事務局次長	1人	電気の安全な取り扱いについ て学ぶ
10月18日～	事務職員会計 実務専門講座	事務局主事	1人	固定資産の実務上の取扱いに ついて
11月6日	共済制度説明会	事務局次長	1人	福祉医療機構等の制度につい て
11月18日	障害者雇用 ステップセミナー	事務局次長	1人	現在の障害者雇用のあり方に ついて
11月25日	人事・労務管理 研修	事務局次長	1人	労働法改正のポイントについ て学ぶ
11月27日	安全運転管理者 研修	事務局次長 (副安管)	1人	安全運転管理者法定講習会
2月6日 2月7日	東海北陸 ブロック会議	理事長 事務局次長	2人	東海北陸ブロック幹部職員研 修

エ その他研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
隔月実施	防災研修 (発電機の取扱い)	主任者等	25人	実際に発電機を扱う 防災備品の確認

オ 視察研修

実施日	視察先	参加職員	人数	対象事業
9月24日	ひまわり事業団 それいゆ・さにい	主幹	1人	就労継続支援B型事業所 生活介護事業所
9月26日	サポートセンター そら	主幹	1人	生活介護事業所
10月8日	玉柏会 宍原荘	主任者等	2人	生活介護事業 就労継続支援B型事業
11月6日	サポートセンター そら	相談支援 専門員	5人	計画相談事業所 生活介護事業所

11月20日	焼津福祉会 生活介護ゆたか	主任	1人	生活介護事業所
12月10日	浜松市社会福祉 事業団	主幹他	2人	身体障害者福祉センターB型 多機能型事業所

カ OJT制度及びメンター制度の実施

制度名	内容等	対象人数
OJT	OJTマニュアルに沿って所属事業所でOJTリーダーを選任し対象者に指導を行った。	15人
メンター	新規採用職員を対象にメンティ(被育成者)をマッチングし、業務だけにとどまらず、スキル形成、人間関係の構築等、併せて法人の中長期的な成長を見込み、メンターの組織人としての成長支援を実施するものであるが今年度は、対象がいなかった。	0人

(2) 職員の主な国家資格取得状況 (※重複取得者あり)

資格名	人数	資格名	人数
社会福祉士	7人	保健師・看護師	5人
精神保健福祉士	2人	公認心理師	1人
介護福祉士	19人	保育士	8人

8 体験実習等の受入れ

事業団内福祉施設の体験学習や実習、施設見学等、積極的に受け入れた。

受入団体名	人数
職員及び嘱託職員採用試験受験者	26人
清水駒越小学校教員	2人
求人紹介企業渉外担当者	7人
障害福祉企画課職員	2人
保健福祉長寿局長・次長他	4人
理学療法士	1人
新任役員(監事)	1人
一般の方	1人
合 計	44人

9 情報公開等

事業団各施設の概要、事業内容、収支決算等を事業団だより「つばさ」（年1回[8月]・2,500部）を発行した他、ホームページを随時更新し、最新情報を公開した。

10 防災関係

(1) 総合防災訓練

事業団全施設を対象に地震による火災発生を想定した初期消火訓練、避難誘導訓練、津波避難訓練、通報訓練を2回実施したほか、建物の倒壊等により道路が遮断され帰宅困難を想定した宿泊型防災訓練を1回実施した。

(2) 防災備蓄品

緊急時に備え、食料・保存水（200人分・7日程度）の他、発電機（4台）、寝袋（200個）、簡易トイレ、ハロゲンライト（4基）等の必要な防災備品を備蓄するため、発電機等の定期的な点検、食料の期限確認等を行った。

11 地域における公益的な取組み

内 容	回数
地域の3公園の清掃活動	35回
子どもの居場所「わいわい広場」	22回
地域歩行者用道路及びガードレール清掃等	18回
地域のカーブミラー清掃	4回
近隣宅地横市有地の清掃	1回
静岡市立清水病院敷地環境整備	1回

12 ボランティアの受入れ

内 容	人数
わいわい広場	23人
合 計	23人

13 その他

- (1) 人材確保のため、採用試験を3回実施し、3名の職員を採用した。
- (2) 新人事評価制度実施に向け、社会保険労務士との打ち合わせを月1回実施した。
- (3) 法人にて静岡市障害福祉企画課と定例会議を月1回実施した。
- (4) 社会福祉充実計画に基づき、下記の事業を行った。

事業名	事業概要	事業費（実績）
利用者サービスの充実	個別送迎に係る燃料費等の必要経費の支出（2台分）	906,689 円
職員研修	職員の資質向上を図るための外部研修の実施 研修名「チームワークを深めるワークショップ」、 「風通しのよい職場づくり研修」	283,800 円
職員福利厚生への充実	職員一時金の支給	3,200,000 円
業務用パソコン増設	業務効率化を図るためケース記録作成のための業務用パソコンの購入	241,450 円
公認会計士意見聴取	社会福祉充実計画策定にあたり、公認会計士からの意見聴取に係る費用支出	165,000 円

II 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センターB型）

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行った他、障害者団体が実施する事業の運営協力、広報紙等の啓発活動、地域福祉活動、静岡市委託事業の開催、施設提供等各種事業を実施した。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1		(1)	1	事務局兼務
指導員	3			3	
計	4	0	(1)	4	

2 事業の実施状況

(1) 教室の開催

ア 機能訓練

書道・ペン習字・陶芸等 9 教室実施

イ 体力増進

卓球・ボッチャ・水中運動・グラウンドゴルフ・エンジョイスポーツ等の 14 教室実施

月	機能訓練		体力増進	
	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数
4	7	59	16	157
5	7	63	14	137
6	7	61	15	120
7	9	86	11	102
8	6	50	12	120
9	7	66	12	113
10	8	62	15	140
11	8	60	13	113
12	9	83	13	119
1	7	59	11	97
2	7	55	10	90
3	7	49	15	144
計	89	753	157	1,452

(2) 障害者福祉団体等への事業運営協力

- ア 障害者スポーツフェスティバルの運営協力（５月）
- イ オレンジ杯ふれあいグランドゴルフ大会協力（７月）
- ウ 福祉のまつり参加（11月）
- エ グラウンドゴルフ大会の運営協力（10月、３月）
- オ 清水区福祉総合文化祭参加（11月）

(3) 啓発活動

- ア みなとだより（広報紙）の発行（定期発行12回）
- イ 事業団広報誌「つばさ」の発行（１回）

(4) 地域福祉活動

- ア 駒越地区企画委員会総会への出席（１回）
- イ 小学生福祉学級の運営（７月）
- ウ 地区レクリエーション大会の運営協力（８月、２月）
- エ 駒越まつり協力（10月）
- オ 駒越地区敬老の集い運営協力（11月）
- カ Ｓ型デイサービス事業協力（３回。１回中止）
- キ わいわい広場の運営（22回。１回中止）
- ク 駒越地区社協研修会（２月 パラスポーツ体験・ボランティア研修会 １回）

※年間計画で予定していた１事業（駒越地区社協研修会）は感染症対策のため中止となった。

(5) 静岡市委託事業

ア 手話奉仕員養成講座

区 分		開催月	実施回数	会 場	参加人数	参加延人数
葵区 駿河区	昼の部	4月～3月	46回	中央福祉センター	30人	1,164人
清水区	夜の部	4月～3月	46回	はーとぴあ清水	30人	1,077人
合 計			92回		60人	2,241人

イ 静岡市障がい者スポーツ教室

開催月	実施回数	会 場	参加延人数
6月～2月	15回	静岡大学附属特別支援学校 他	388人

(6) 会議室、運動広場等の施設利用(外部)

区 分	件数
会議室	5 件
運動広場	46 件
多目的ホール	5 件
計	56 件

(7) 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	3 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	0 人
一般の見学、実習等	1 人
合 計	4 人

(8) ボランティアの受入れ

内 容	人数
教室や行事補助	295 人
合 計	295 人

Ⅲ 静岡市清水ひびきワーク（生活介護事業所：定員 20 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動及び生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動は、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には、バスや小型車で（静岡市清水うしおワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）送迎を行った。バス停までの移動が困難な利用者が増えていることから個別送迎の試行を継続実施すると共に、なぎさホームの個別送迎に同乗して行う対応を図った。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 234 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者 (施設長)	1		(1)	(1)	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	3			3	施設長兼務
看護師			(1)	(1)	うしおワーク兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	5	1	(2)	6	

2 利用者の状況（令和 6 年度末利用契約人員：13 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	0	0	3	3	1	7	53.8 歳	67 歳	47 歳
女	0	0	3	0	3	6	54.6 歳	71 歳	42 歳
計	0	0	6	3	4	13	54.2 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	0	1	1	2	3	7	20.8 年
女	1	0	1	0	4	6	22.5 年
計	0	2	1	2	8	13	21.6 年

(3) 身体障害者手帳所持者（単位：人）

等級 性別	1	2	3	4	5	6	計
男	3	3	1	0	0	0	7
女	3	2	1	0	0	0	6
計	6	5	2	0	0	0	13

(4) 障害支援区分(受給者証)（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	2	2	1	7	
女	0	0	2	0	3	1	6	
計	0	0	4	2	5	2	13	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	1人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	13人	197人
5	23	13	180
6	22	12	181
7	23	12	196
8	23	12	182
9	22	13	173
10	23	13	194
11	22	13	184
12	23	13	195
1	22	13	163
2	20	13	168
3	23	13	175
計	268	—	2,188

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折（菓子の箱折り・糊付け、ひも通し）
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み（薬品梱包用）
望月工業(株)	ガasketはめ

(2) 収入状況

年度別	令和6年度	令和5年度	増減
収入金額	836,572 円	767,388 円	69,184 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
24,140 円	180 円	5,774 円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数
選択活動（ボウリング、ふじのくにお茶の都ミュージアム等）	6 月、7 月、8 月、 9 月、11 月、 1 月、2 月、3 月	16 回
外出活動（バスハイク、防災センター見学）	10 月、12 月	2 回
絵画教室（外部講師指導）	10 月、1 月	2 回

※ その他、避難訓練（毎月 1 回）、健康診断（10 月）、インフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を行った。

5 見学、実習等の受入れ

区 分	人数
施設利用のための見学、実習	14 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	6 人
一般の見学、実習等	25 人
合 計	45 人

6 ボランティアの受入れ

区 分	延人数
行事・土曜活動	60 人
サマーショート	10 人
個人	0 人
合 計	70 人

7 利用者、保護者との連絡調整

利用者及び保護者との個別面談や三者による面談会を行い、利用者へのサービスの向上に努めた。

IV 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)

発達が気になる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育て支援に努めたほか、ビデオを用いたペアレントトレーニングの定期的な開催、心理職スタッフによる発達相談などを行った。

また、保健センター主催の遊びの教室他、早期発達支援の場である「ばすてるひろば」に定期的に職員を派遣し、スムーズに療育につなげるよう努めた。

新たな取り組みでは、保護者支援の一環として、静岡市発達障害者支援センターきらりが行っているメンター派遣事業を活用してメンタートークルームを開催し、ペアレントメンターの話を聞くことで将来を見据えた子育てに役立ててもらえるよう努めた。

1 職員の配置状況(単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1			1	
指導員	5			5	
公認心理師		1		1	
医師		1		1	嘱託医
臨床発達心理士		3		3	
計	6	5	0	11	

2 利用状況調べ(単位：人)

月別	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	合 計
4	177	0	4	3	216	400
5	179	0	5	21	159	364
6	155	0	5	56	244	460
7	160	0	6	67	223	456
8	140	0	4	17	158	319
9	184	0	6	15	213	418
10	208	0	7	10	173	398
11	164	0	5	4	181	354
12	162	0	3	8	153	326
1	175	0	5	5	260	445
2	177	0	5	9	182	373
3	181	0	4	8	176	369
計	2,062	0	59	223	2,338	4,682

※8/28 は大雨警報が発令されたため、利用者の安全を考慮し事業を中止した。

[年度別登録者数等調]

年度別	登録者数	延利用者数
令和5年度	206人	4,576人
令和6年度	200人	4,682人

3 主要行事

行事名	実施月	回数	延参加者
特別支援学級見学	6月・7月	14回	36人
ママパパ教室（年長児）	随時	5回	67人
ママパパ教室（その他）	随時	11回	72人
メンタートークルーム	10月	1回	7人
みんなでほっとする会（親同士の懇談会）	随時	5回	16人
秋フェス（親の会共催）	10月	1回	198人
父親教室	1月	1回	21人

《その他》

- (1) 臨床発達心理士による療育相談会を年26回実施した。
- (2) 蒲原保健センター主催のフォローアップの会に参加（年間12回）し、課題のあるケースへのアプローチや当センターの療育につなげていくため、積極的な働きかけを行った。
- (3) コミュニケーション発達を促すビデオを上映するペアレントトレーニングを7回実施した。

4 他機関との連携

他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

内 容	回数
蒲原保健センター職員派遣	12回
こども園・保育園・幼稚園・児童発達支援事業所訪問	49園
静岡市幼児言語教室との連絡会	1回
清水区こども園等との連絡会	随時
就学支援における教育委員会との連携	随時

5 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	49人
一般の見学、実習等	23人
合 計	72人

6 ボランティアの受入れ

内 容	人数
学生	8 人
一般・地域	19 人
合 計	27 人

V 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延1,284人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

I 生活介護事業・定員30名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には、バスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行った。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	就労継続支援B型と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	就労継続支援B型と兼務
生活支援員	4			4	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	就労継続支援B型と兼務
看護師		1	(1)	1	うなばら学園、ひびきワーク 兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	8	2	(5)	10	

2 利用者の状況(令和6年度末利用契約人員：25人)

(1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	5	5	8	0	19	45.9歳	57歳	22歳
女	1	0	2	3	0	6	47.5歳	57歳	23歳
計	2	5	7	11	0	25	46.2歳		

(2) 在所要間(単位:人)

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所要 年数
男	2	2	1	3	11	19	23.2年
女	0	1	0	0	5	6	28.3年
計	2	3	1	3	16	25	24.4年

(3) 療育手帳所持者（単位：人）

区分 性別	A	B	計
男	16	3	19
女	5	1	6
計	21	4	25

(4) 障害支援区分（受給者証）（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	10	7	0	19	
女	0	0	1	1	3	1	6	
計	0	0	3	11	10	1	25	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	27人	504人
5	23	27	524
6	22	27	494
7	23	27	542
8	23	27	480
9	22	27	468
10	23	27	543
11	22	27	475
12	23	27	486
1	22	27	471
2	20	25	411
3	23	25	476
計	268	—	5,874

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み
(株)望月工業	ガスケットゴムはめ
自主製品	園芸等

(1) 収入状況

年度別	令和6年度	令和5年度	増減
収入金額	951,133 円	1,631,714 円	△680,581 円

(3) 工賃支給状況(月額)

最 高	最 低	平 均
3,311 円	194 円	1,959 円

4 主要行事等（レクリエーション活動）

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	6 月、9 月、3 月	3 回	29 人
音楽コンサート	6 月、7 月、8 月、9 月 12 月、1 月	6 回	69 人
体力測定会	9 月	1 回	9 人
運動会	11 月、12 月	2 回	22 人
その他スポーツ (軽スポーツ、球技大会)	5 月、3 月	2 回	26 人
防災体験	11 月	1 回	9 人
季節の行事	4 月、8 月、10 月、1 月 2 月	5 回	69 人
その他、レク活動	5 月、12 月、1 月、2 月、 3 月	5 回	64 人

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月 1 回実施した。
- (2) 運動支援事業（歩行・ティーボール・ランニング）等、共通する事業は就労継続支援 B 型事業の利用者と一緒に行った。
- (2) 体重測定、血圧測定を毎月 1 回実施した。
- (4) 健康診断（10 月）、歯科検診（11 月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を実施した。

5 見学、実習等の受入れ（就労継続支援 B 型事業と共通）

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	0 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	52 人
一般の見学、実習等	36 人
合 計	88 人

6 ボランティアの受入れ（就労継続支援 B 型事業と共通）

内 容	人数
保護者清掃	73 人
土曜活動（コンサート）	15 人
合 計	88 人

7 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談等を実施し、家庭との連携を図った。

Ⅱ 就労継続支援B型事業・定員 20 名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者にはバスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行う他、公共交通機関を使って通所する利用者に対しては、交通ルールや利用マナーを順守するよう支援した。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
生活支援員		1		1	
職業指導員	1			1	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	生活介護事業所と兼務
目標工賃達成 指導員	1			1	
計	6	1	(4)	7	

2 利用者の状況（令和6年度末利用契約人員：20人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	0	6	7	4	18	51.9 歳	75 歳	22 歳
女	0	0	1	0	1	2	58.0 歳	73 歳	43 歳
計	1	0	7	7	5	20	52.6 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5 ～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	4	2	2	3	7	18	17.2 年
女	0	0	1	0	1	2	26.0 年
計	4	2	3	3	8	20	18.1 年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	8	10	18
女	0	2	2
計	8	12	20

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	無	1	2	3	4	5	6	計
男	9	0	0	3	5	1	0	18
女	1	0	0	0	1	0	0	2
計	10	0	0	3	6	1	0	20

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 ^日	20 ^人	417 ^人
5	23	20	424
6	22	20	394
7	23	20	432
8	23	20	411
9	22	20	392
10	23	20	422
11	22	20	398
12	23	20	420
1	22	20	394
2	20	20	371
3	23	20	422
計	268	—	4,897

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
(株)ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み
(株)望月工業	ガasketゴムはめ
静岡市上下水道局	使用済み水道メーター分解業務

(2) 収入状況

年度別	令和6年度	令和5年度	増減
収入金額	5,092,476 円	5,506,969 円	△414,493 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
29,076 円	5,851 円	17,622 円

4 就職の状況

就職者はなかった。

5 主要行事等（レクリエーション活動）

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	6月、9月、3月	3回	29人
音楽コンサート	6月、7月、8月、9月 12月、1月	6回	54人
体力測定会	9月	1回	10人
運動会	11月、12月	2回	21人
その他スポーツ (軽スポーツ、球技大会)	5月、3月	2回	23人
防災体験(宿泊)	11月	1回	5人
季節の行事	4月、8月、10月、1月 2月	5回	56人
その他、レク活動	5月、12月、1月、2月、 3月	5回	54人

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月 1 回実施した。
- (2) 運動支援事業（歩行・ティーボール・ランニング）等、共通する事業は生活介護事業の利用者と一緒にいった。
- (3) 体重測定、血圧測定を毎月 1 回実施した。
- (4) 健康診断（10 月） 歯科検診（11 月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を実施した。

6 見学、実習等の受入れ（生活介護事業と共通）

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	0 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	52 人
一般の見学、実習等	36 人
合 計	88 人

7 ボランティアの受入れ（生活介護事業と共通）

内 容	人数
保護者清掃	73 人
土曜活動（コンサート）	15 人
合 計	88 人

8 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談等を実施し、家庭との連携を図った。

VI 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所：定員 60 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、それぞれの障害特性に配慮し充実した生活が送れるよう、生活、学習、作業支援等を実施した。

生産活動については、木工品、手芸品、牛乳パックを使用した油取り紙（油取とり～な）、地域の飲食店から原材料となる卵の殻を提供していただき加工して製造した卵の殻肥料を販売する等、自主製品の製作、販売を中心に作業量、作業工賃の確保に努めた。

また、希望する利用者にはバス及び小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うしおワーク利用者と同乗）で送迎を行った。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 334 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	生活支援員兼務
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	10	2		12	
看護師		1	(1)	1	
運転士兼 生活支援員	1			1	
業務員		1		1	
医 師		1		1	嘱託医
計	13	5	(2)	18	

2 利用者の状況（令和 6 年度末利用契約人員：40 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均 年齢	最年長	最年少
男	6	11	8	5	0	30	38.7 歳	55 歳	24 歳
女	2	2	4	2	0	10	42.1 歳	50 歳	20 歳
計	8	13	12	7	0	40	39.0 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	0	4	8	6	12	30	19.6 年
女	1	0	2	1	6	10	22.3 年
計	1	4	10	7	18	40	20.2 年

(3) 療育手帳所持者（単位：人）

区分 性別	A	B	計
男	28	2	30
女	10	0	10
計	38	2	40

(4) 障害支援区分(受給者証)（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	2	8	20	30	
女	0	0	0	1	3	6	10	
計	0	0	0	3	11	26	40	5.6

(5) 入退所状況

入所	退所
1 人	3 人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 日	42 人	768 人
5	23	42	776
6	22	42	745
7	23	41	808
8	23	41	773
9	22	40	713
10	23	40	767
11	22	40	714
12	23	40	692
1	22	40	709
2	20	40	665
3	23	40	756
計	268	—	8,886

3 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業㈱	C Dソフト等の分解・分別、油取り紙作成
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料作成
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・鍋敷き・木工玩具 プランター・アクセサリー等

(2) 収入状況

年度別	令和6年度	令和5年度	増減
収入金額	710,308 円	614,450 円	95,858 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
2,140 円	60 円	1,269 円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
個別活動 (動物園、ハイキング、いちご狩り等)	随時	7 回	33 人
班活動 (クッキング、外出活動等)	随時	11 回	141 人
クラブ活動 (スポーツ・音楽)	随時	72 回	1,046 人
宿泊活動 (サファリパーク・大涌谷)	10 月	1 回	27 人
四季の活動 (バスハイク、合同運動会、フードフェス、節分の集い)	5 月、10 月、 11 月、2 月	4 回	107 人
クリスマス会	12 月	1 回	33 人

《その他》

- (1) 避難訓練・体重測定を毎月 1 回実施した。
- (2) 健康診断 1 回、血液検査（希望者）、インフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診、歯科検診をそれぞれ年 1 回行った。

5 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	36 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	59 人
一般の見学、実習等	11 人
合 計	101 人

6 ボランティアの受入れ 5 人

7 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載し、日々の活動の様子が伝わるよう写真を掲載した「うなばら学園だより」を毎月発行した。

各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報共有を行った。

また、個別支援計画等作成に当たっては、個別面談を実施し、家庭との連携を図った。

Ⅶ 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所：定員 20 名）

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立機能の維持や社会参加及び家庭介護の軽減を図った。

外出活動（買い物等）や他事業所との運動会等、活動の場を広げながら地域との交流機会を作った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	4	1		5	
看護師兼 生活支援員	3			3	
医 師		1		1	嘱託医
運転士		2		2	事務局兼務
計	9	4		13	

2 利用者の状況（令和 6 年度末利用契約人員：13 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	0	2	1	4	42.8 歳	51 歳	27 歳
女	4	4	0	1	9	32.2 歳	56 歳	21 歳
計	5	4	2	2	13	34.1 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～9 年	10～14 年	15～19 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	0	2	0	0	2	4	17.8 年
女	1	3	4	1	0	9	9.4 年
計	1	5	4	1	2	13	12 年

(3) 身体障害者手帳所持状況（単位：人）

級 性別	1 級	2 級	無	計
男	2	1	1	4
女	8	0	1	9
計	10	1	2	13

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分（受給者証）（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	0	0	4	4	
女	0	0	0	0	0	9	9	
計	0	0	0	0	0	13	13	6.0

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 ^日	15 ^人	238 ^人
5	23	15	253
6	22	15	234
7	23	15	239
8	23	15	216
9	22	15	226
10	23	15	229
11	22	15	217
12	23	14	223
1	22	14	205
2	20	13	175
3	23	13	214
計	268	—	2,669

3 主な活動内容

日常の日課として、個別の課題活動、レクリエーションゲーム、足浴、外気浴等を行った。
また水曜日（月1～2回）は、多目的ホールを使用して、運動的活動を行った。

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
外出活動 (船越堤公園、日本平運動公園、ロリエたこまん 御穂神社、浄化センター多目的広場、日本平夢テ ラス)	5月、7月 9月、1月 2月、3月	6回	74人
誕生会	随時	9回	91人
クッキング	9月、2月 3月	3回	29人
壁面制作	6月、10月 1月、3月	4回	40人
季節行事 (夏祭り、クリスマス会、もちつき大会、節分 ひなまつり)	8月、12月 1月、2月 3月	5回	52人
音楽療法	毎月	12回	116人
スポーツレクリエーション教室	5月、7月 10月、2月	4回	42人
陶芸教室	6月、8月	2回	30人
法人内4事業所合同交流運動会	11月	1回	13人
他事業所(そら、ここ、わたぐも事業所)との交流 運動会	11月	1回	7人
法人内4事業所合同秋祭り(フードフェス)	10月	1回	11人
選択活動(富士山静岡空港、エスパルスドリーム プラザ)	11月	1回	14人
宿泊型防災訓練	11月	1回	9人
リハビリ指導(OT、ST、PT)	6月、8月 1月、2月	4回	7人

※その他、避難訓練(毎月1回)、体調チェック(毎日)、体重測定(毎月1回)、健康診断、
血液検査(希望者)、インフルエンザ予防接種(希望者)、結核検診を行った。

5 ライフサポート事業(重症心身障害児者ライフサポート事業:日帰りショート)

実施回数	延べ人数
9回	55人

6 送迎サービス

送迎を希望する利用者(12人)に対して、毎日、個別送迎を実施した。

7 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	15 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	68 人
一般の見学、実習等	9 人
合 計	92 人

8 ボランティアの受入れ

内 容	人数
サマーショート	5 人
大学生	0 人
土曜活動（コンサート等）	59 人
合 計	64 人

9 家庭との連携について

施設の様子や行事予定を掲載した「なぎさだより」を毎月 1 回配布した他、「家庭連絡ノート」による家庭と施設間の連絡や個別支援計画作成時における個別面談（年 2 回）の実施、日々の個別送迎時を通して、家庭との連携、連絡調整を図った。

Ⅷ 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業)

I 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

静岡市の指定を受けて、利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児（者）とその家族の福祉の向上に努めた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者	1	0	(1)	1	事務局兼務
相談支援専門員	4	0	(1)	4	市委託兼務
計	5	0	(2)	5	

※相談支援専門員 1 名は、障害者等相談支援兼務

2 計画作成の状況（単位：件）

区 分		特定	障害児	合計
計画		152	91	243
継続		497	145	642
計画・継続		27	22	49
各種 加 算	初回	8	9	17
	担当者会議	8	0	8
	モニタリング	217	63	280
	退院・退所	0	0	0
	居宅連携	情報提供	0	0
		訪問会議	0	0
	入院時情報連携	訪問	0	0
		その他	0	0
	保育・教育等移行	情報提供	1	1
		訪問会議	0	0
	相談機関連携		0	0
	地域生活拠点		7	7
	地域体制強化		0	0
	集中加算		23	12
				35

Ⅱ 障害者等相談支援（清水区・知的）

静岡市から委託を受け、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者	1	0	(1)	1	事務局兼務
相談支援専門員	2	0	(1)	2	
計	3	0	(2)	3	

※相談支援専門員 1 名は、特定相談支援事業・障害児相談支援事業兼務

2 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		247 日
相談支援	実人数	748 人
	延件数	3,864 件
個別支援計画	作成件数	0 件
	作成支援件数	0 件
個別支援会議	開催回数	17 回
	参加回数	38 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	12 回開催
	区連絡調整会議	12 回開催
	市連絡調整会議	2 回参加
	市自立支援会議	2 回参加

ア 実績の詳細（相談支援実人数）

区 分	障害者	障害児	計
実人数	597 人	151 人	748 人
うち、重複障害のある 人数(重心は除く)	0 人	0 人	0 人

イ 障害種別内訳(単位：延人数)

障害別 区分	知的 障害	発達 障害	身体 障害	重症 心身障害	精神 障害	高次脳 機能障害	その他	計
障害者	506	0	7	2	85	0	0	600
障害児	113	0	1	0	34	0	0	148
計	609	0	8	2	129	0	0	748

ウ 支援方法内訳(単位：件)

障害 区分	訪問	来所 相談	同行	電話	メール	個別支 援会議	関係 機関	郵便	代行	その他	計
身体	0	2	0	8	0	0	10	1	0	0	21
知的	170	122	169	849	84	40	1,748	57	4	0	3,243
精神	45	14	23	109	26	15	358	10	0	0	600
計	215	138	192	966	110	55	2,116	68	4	0	3,864

エ 年間相談延件数の支援内容別内訳 (単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,649	生活技術に関する支援	230
障害や病状に関する支援	142	就労に関する支援	140
健康・医療に関する支援	356	社会参加・余暇活動に関する支援	27
不安の解消・情緒の安定に関する支援	419	権利擁護に関する支援	111
保育・教育に関する支援	168	障害者虐待に関する支援	3
家族関係・人間関係に関する支援	215	社会資源等の情報を共有するための支援	0
家計・経済に関する支援	404	その他委託者が必要と認める支援	0
		合 計	3,864

(2) 相談支援体制の強化に関する取組み実績

区 分	年間実績
困難事例への対応	245 件
地域の相談機関への助言・指導	117 回
基幹相談支援センターとの連携	8 回
合 計	370 回

2 障害児等療育支援事業

(1) 訪問による療育指導

実施内容	対 象	実施回数	参加人数
うみのこパパママ教室	年長児の保護者	1 回	17 人
合 計		1 回	17 人

(2) 外来による専門的な療育相談、指導

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
自立支援プログラム 「スポーツを体験しよう」	静岡市しみず社会福祉事業団	1 回	6 人
合 計		1 回	6 人

(3) 障害児の通う保育園や障害児通園事業等の職員の療育技術の指導

①巡回職員研修

会場	実施月	対象児	参加人数
放課後等デイサービスはれのひ	6 月	1 人	4 人
放課後等デイサービスラウラウ	6 月	1 人	9 人
蒲原東部こども園	7 月	1 人	10 人
清水りんぼかんこども園	8 月	1 名	1 人
清水聖母保育園	8 月	1 人	2 人
江尻幼稚園	8 月	1 人	10 人
放課後等デイサービスぱれっと船越	9 月	1 人	1 人
興津北こども園	9 月	4 人	2 人
合計		11 人	39 人

②法人内職員研修

会 場	実施回数	参加人数
静岡市しみず社会福祉事業団	1 回	8 人

(4) 療育機関に対する支援

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
うみのこセンター特別指導	静岡市しみず社会福祉事業団	8 回	48 人
療育講演会 (対象：放課後等デイサービス) 「発達障がいと暴言・暴力が多い子への 支援について～事例をもとに考える～」	はーとぴあ清水	1 回	40 人
療育相談会 「学齢期から成人期の生活支援～就職・ 福祉サービス等について」	はーとぴあ清水	1 回	3 人

Ⅲ その他

1 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	6 人
一般の見学、実習等	1 人
合 計	7 人

※大学等の社会福祉士実習受入体制を整えるため、職員 1 名が社会福祉士実習指導者講習会受講

2 ボランティアの受入れ 1 人